

# 御所南だより 1月特別号 特集 前期学校評価2

平成28年1月29日  
京都市立御所南小学校  
校長 竹内 知史

	評価項目	A	B	C	D
		よくできている	だいたいでできている	あまりできていない	できていない
学校に対して	1. 思考表現力（思考・判断したことを表現する力を高めるような授業を進めている。）	44.0 98.1% 456	54.1 98.1% 561	1.7 1.3% 18	0.2 0.2% 2
	2. 分かりやすい授業を目指して学習の進め方を工夫している。	47.0 98.4% 488	51.4 98.4% 534	1.5 1.5% 16	0 0% 0
	3. 子どもたちのノートや作品、ワークシート等に○をつけたりコメントを入れたりするなど、丁寧にみている。	58.4 97.0% 607	38.6 97.0% 401	2.7 3.1% 28	0.4 0.4% 3
	4. 子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切にした学級経営を行っている。	43.8 95.6% 453	51.8 95.6% 536	4.2 4.5% 43	0.3 0.3% 3
	5. 子どものことについて連絡を密にするなど、保護者と連携して指導するようにしている。	47.1 95.1% 490	48.0 95.1% 500	4.6 4.9% 48	0.3 0.3% 3
	6. 学校は、学校だより・ホームページ等で学校の様子を積極的に伝えている。	39.2 94.2% 407	55.0 94.2% 570	5.0 5.8% 52	0.8 0.8% 8
	7. 学校の教職員は、質問したり相談したりしやすい。	59.5 96.4% 619	36.9 96.4% 384	3.1 3.6% 32	0.5 0.5% 5
保護者として	1. 子どもの生活リズムを大切にし、早寝・早起きができるようにしている。	22.8 78.4% 237	55.6 78.4% 579	19.7 21.6% 205	1.9 1.9% 20
	2. 子どもから学校や友達の話を聞くようにしている。	32.9 92.6% 342	59.7 92.6% 621	6.6 7.4% 69	0.8 0.8% 8
	3. 時間を決めて学習したり、集中して学習に向かってできるようにするなど、子どもに学習の習慣がつくようにしている。	17.5 73.1% 182	55.6 73.1% 579	25.6 26.9% 266	1.3 1.3% 14
	4. 参観・懇談会等、学校の行事にはできるだけ参加するようにしている。	30.5 85.5% 318	55.0 85.5% 573	12.9 14.4% 134	1.5 1.5% 16

\* 数字の上段は%(小数点以下の四捨五入の状況で合計が100%にならない場合があります)、下段は人数です。

学校教育目標 未来に夢が広がる地域の学校

確かな学力・豊かな人間性・健やかな体 かがやく御所南の子ども

御所南小学校では、学校評価の大切な指標として年に3回保護者アンケートを実施しています。今回は10月の個人懇談会の際にご協力いただいたアンケート結果をお知らせします。アンケート用紙の配付は児童数で行い、回答数は1041でした。なお、回答の中には、「無回答」のものやマークの仕方によって機械の読み取りができず「無回答」と判断されたものが含まれますので、左表の下段の数字の合計が1041にならないものもあります。

学校に対して

保護者として

学校運営協議会より

「学校に対して」は、どの項目についてもA+B（よくできている・だいたいでできている）の肯定的な評価が90%以上になっています。このように評価していただけることは大変ありがたいことです。

その中で、質問3「子どもたちのノートや作品、ワークシート等に○をつけたりコメントを入れたりするなど、丁寧にみている」のA+Bの合計が昨年度の同じ時期の調査の98.3%から97.0%，質問6「学校は、学校だより・ホームページ等で学校の様子を積極的に伝えている」が昨年度の調査の95.1%から94.2%と若干下がっています。特に質問6は「よくできている」の割合が他の項目に比べて低いので、学校からの情報発信についてさらに工夫が必要であると考えております。

「保護者として」の項目については、ご自身のことであるので、「学校に対して」に比べて厳しい評価をされていると考えられます。

その中で、昨年度と比べると、質問2「子どもから学校や友達の話を聞くようにしている」は肯定的な回答が昨年度の90.7%から92.6%に、質問4「参観・懇談等、学校の行事にはできるだけ参加するようにしている」が昨年度の83.7%から85.5%と高まっています。

質問3「時間を決めて学習したり、集中して学習に向かってできるようにするなど、子どもに学習の習慣がつくようになっている」に関連して、全国学力・学習状況調査においても、学習に対する関心・意欲・態度、読書・学習時間、基本的生活習慣、自尊感情・規範意識などの項目で、肯定的な回答をした小中学生ほど、学力が高い傾向があることが確認されています。毎日同じ時刻に宿題や家庭学習をしたり、学習する場所を固定することは難しいご家庭もあるかと思いますが、それぞれの課題に応じた家庭学習を計画的に行う力をつけておくことは大切だと考えます。学校でも家庭学習の習慣がつくように働きかけていきたいと考えております。

1月22日の学校運営協議会の際、保護者アンケートの結果を報告しました。

学校運営協議会の委員の方からは

- ・保護者の立場からはなかなか自分のことを「よくできている」とは評価しづらいのでこのような結果になっているのではないか。
- ・9割以上の保護者が肯定的な回答をしていることに満足をせず、「あまりできていない」「できていない」の回答について掘り下げていくことも大切。
- ・肯定的な回答が低い項目については、学校からも改善方法について発信することも必要。といったご意見をいただきました。

子どもたちの生きる力を育て、一人一人のよさや可能性を伸ばすためには、保護者や地域の皆さんと学校とが子どもを中心にしてそれぞれの役割を果たしながら力を合わせていくことが大切だと考えています。今回の評価を踏まえて、これからも努力していきたいと考えていますので、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

